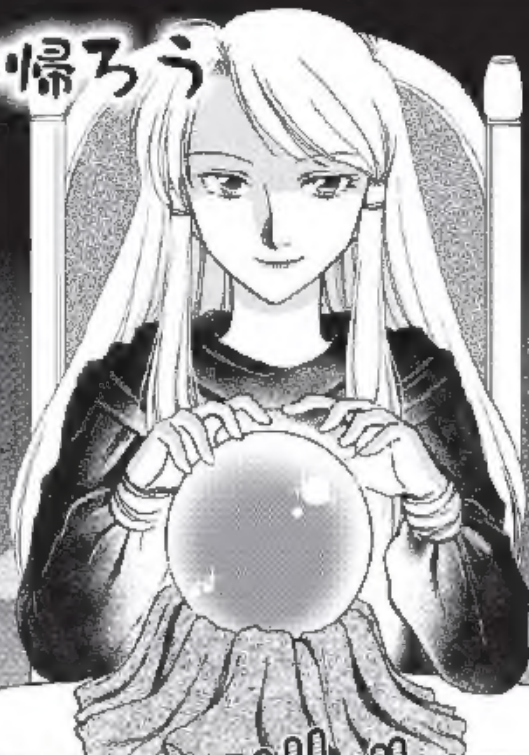


地元へ帰ろう

ふしみゆり

私は占い師
サラ

得意分野は
恋愛占いです



ねーさーん
サラ姐さーん

最近はおギ専属に
なりつつあります

今日も
采やがった

チッ



昨日 魔坑の奥まで
行っただよよ
見つかなかったぜ

俺の
運命の女!!

あらそう
残念ね

あなたは占いで
彼女探しながら
向かないのかもネ

何言っただよ
フロだろ
姐さんは





ドキ
あのさ...



3日後
プロマロック行きの
定期便が
復航するだろ
僕は
それに乗って
ここを出るよ

何...!?



バカ野郎っ

ただ細かな道は
わからないから
ドギに聞こうと
思っ



前に故郷の話をして
くれただろあの時から
興味わいて
調べていたんだ

火山が
どうしても
見たくっさ



俺の運命の女は
女神様
だったんだ

……と
いうワケで



何がって

長〜い髪
純白ドレスの美女
あちちで言うから
タームの塔かと思っただ
神殿もあるだろう

何がどうなって
そーなったんだ!?



俺とアドルは
恋のライバル
だったんだな!

イースリの
EDを見て
なかったのか?

だから俺今度
女神像をピカピカに
みがきに行こうと
思ってたんだ

どういふ
気持ち悪い



だってココの
おじさん達
あたしの作った
リングのお菓子
喜んで食べて
くれるんだもん♪

手作り
手作り♪

女子の手作り
おかしい！

なんで
盗賊の家に!?

リリア!?

あたしも冒険
できるのよ

なんせイースの
中枢まで行った
ことあるんだから！

アハハハ



お前は
方向オンチ
だからな

ちげーよ
親分っ



ドキ...

あたしも
行くっつ！

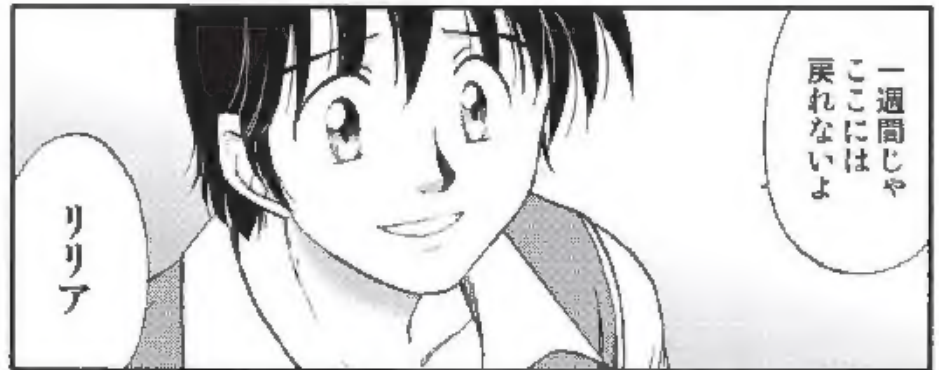


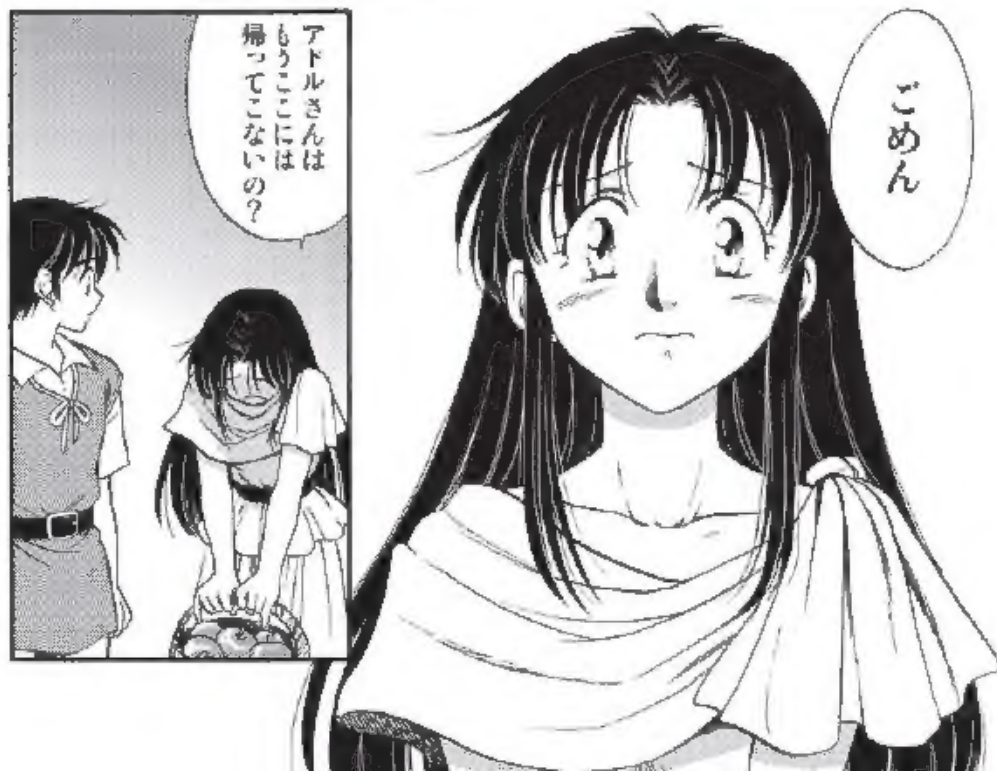
俺がそんな地図見て
道順示せるとでも
思ってるのか？

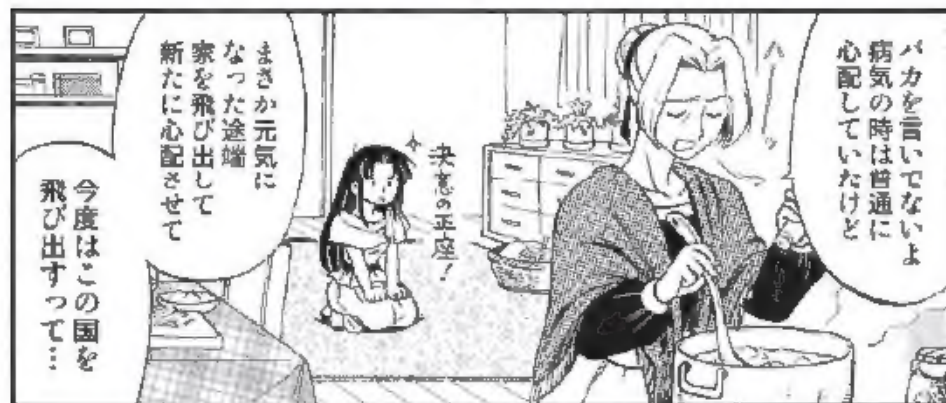


俺も誘えよ
アドル！

案内役は
まかせろ！







僕は立ち止まったら
ダメなんだ

フィーナがくれた
この静けさに
甘えてはいけない

前に進むんだ――

魔物がこの地から消えて
何日たっただろう

こんな夜に二人でいても
静かだ――

嫌でも
考えてしまふ

フィーナ……

ぞろ ぞろ ぞろ

おまたせ
—!!

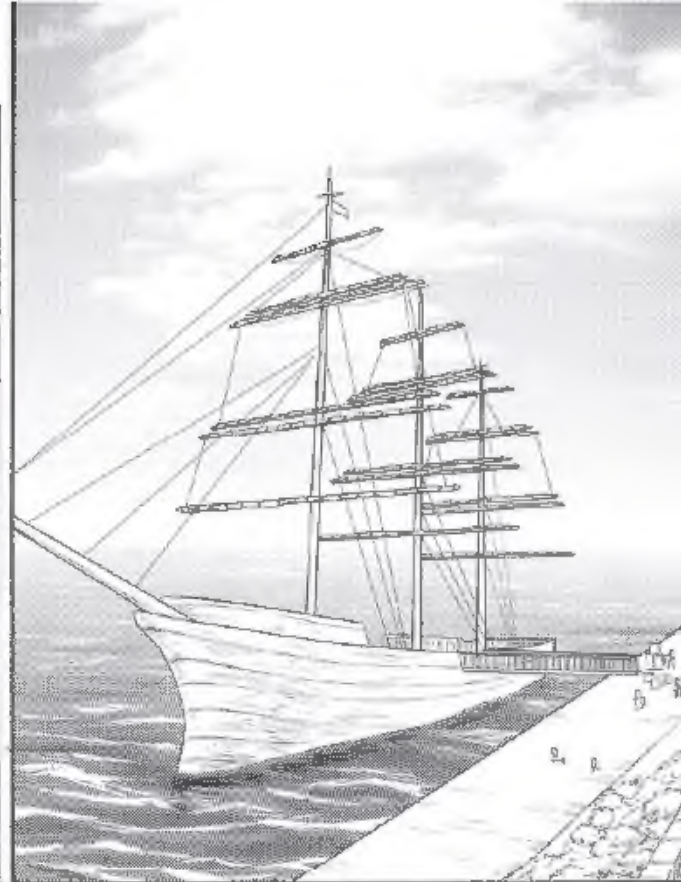


ルタおん (見送り) クルフ (見送り) キース (荷物持ち) リリア (リア・コンダクター) マリア (妻) サダ (父) ハダット (監視)



なんだアドル
荷物はそれだけ
かよ?

そうだよ



な何だ
そいつらは!?

筋肉さんは
黙ってて!



あたしマリアさんの
新婚旅行を引率
することになったの!

一週間なら
お母さんもいって
言っただし!

新婚
新婚...

まあ保護者
代わりと
いうワケね



アドルさ—ん

餓別は
やるからよ

ありがとな
親分!



俺は故郷への
手土産が多くて
こんなんだぜ!

手土産は一つに
しておけば
全部置いていけ



エステリアが
遠ざかっていく



たくさん
出来事を
思い出して

一体なんて
言えば
いいか……



いってらっしゃい



…はい



私船って
初めて――

私達は
港に着いたら
東の街に向かうから
そこでお別れに
なるけど

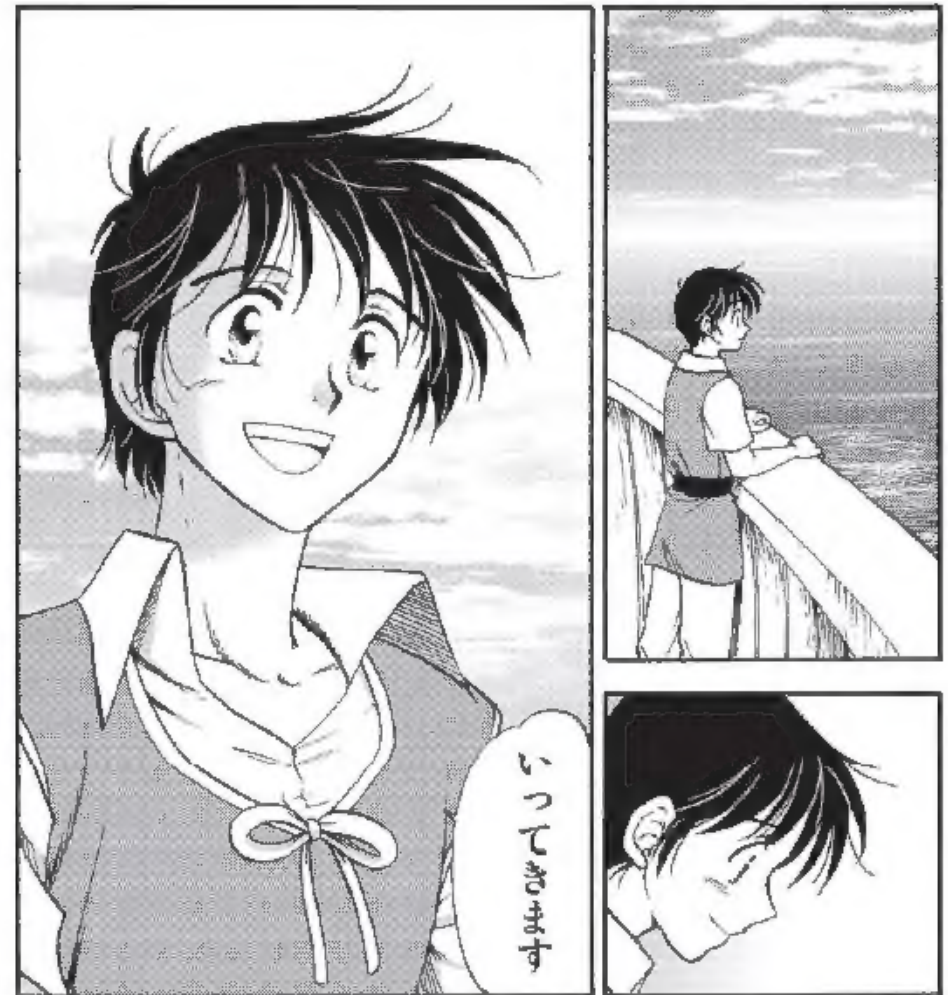
それまでは
皆で楽しく
行きましょう？

こんなに
大きいのに
どうして水に
沈まないの？



おかーさん
おかーさん
いってらっしゃーす

ムチャなこと
するんじや
ないわよー



Fin